

多治見市老人クラブ連合会 ふれあい作品展開催

多治見市老人クラブ連合会が主催する作品展が6月4日から6日、総合福祉センター(太平町)で開催されました。この作品展は、老人クラブの会員の制作活動を発表する機会に、毎年開催しています。会場には絵画や書道、手芸、陶芸など、見事な作品168点が展示され、訪れた人は、じっくりと鑑賞していました。

選考された6作品は、10月に長良川国際会議場(岐阜市)で開催される岐阜県老人クラブ作品コンクールに出品されます。



福祉委員の活動紹介

多治見市社会福祉協議会は、自治会の協力を得て、町内会単位に福祉委員を設置しています。福祉委員は、民生児童委員や地域のボランティアと協力し、見守り活動や交流会など、地域住民の支え合いを推進しています。

13区精華地域

毎月第3月曜日に本土会館(小田町)で、地域住民が交流するひまわりサロン「ひとみ会」を開催しています。4月に民生児童委員の協力を得て、地域の65歳以上の高齢者宅を訪問し、サロンの年間予定表を配付しました。サロンの参加を呼び掛けることで、地域の高齢者の見守り活動ができ、地域の実情を知る機会になりました。

サロンの内容は、音楽療法やタオル体操、骨密度測定、健康の話など、参加者と相談しながら内容を決め、楽しく交流しています。



24区小泉地域

小泉地域民生児童委員協議会は、地域のふれあいを目的として、毎年、高齢者を対象に「小泉おたのしみ会」を開催しています。今年初めて、24区の福祉委員がお楽しみ会に参加しました。地域の高齢者に積極的に声を掛け、交流し、高齢者の状況の把握に努めました。民生児童委員とは情報交換を行い、連携を深めることができました。

